



## 新年のごあいさつ

茨城県知事 友末洋治

新年おめでとう存じます。

まずもつて皆さんが、元気で明るい、よいお正月を迎えられたことを心からお喜び申し上げます。

今年は、健康な茨城の基礎の上に、いよいよこれを大いに発展せしめる時代に入ったような気持ちがいたします。そこで何としても、

豊作大漁を続けたい。

経済も文化も上向きにしたい。

道も港も電車もフルに働いてもらいたい。

眠れる宝庫のとびらも開きたい。

水や原子力ともガツチリと取り組みたい。

健全財政の質もよりよくしたい。

新しい年に対する期待は、あれこれと数限りなくわき出てまいります。申し上げるまでもなく健康茨城の発展は、

私どもが、これに情熱と誠実とを力いつばい注ぎ込むこと。

あらゆる利害や感情などの対立は、おたがいが良識に従つて譲り合い、そこにほどよい調和を見いだすこと。

などによつて、おのずから可能になることと信じます。

ここに、希望に満ちた健康茨城へ飛躍しようとする新春にあたり、皆さんの幸福と繁栄とをひとすじに祈念して、新年のごあいさつといたします。

昭和三十四年元旦



## 年頭のあいさつ

茨城県総務部長 木村凡夫  
茨城県統計協会会長

明けましておめでとうございます。

ここに輝かしい昭和三十四年の新春を迎え皆様の御慶福を心からお喜び申し上げます。

さて昨年は2年に1度行われる商業統計調査をはじめ、住宅統計調査、沿岸漁業対策臨時調査、農業基本調査、学校基本調査、工業統計調査、その他数多くの調査が実施されましたが、市町村統計関係者および統計調査員の皆様には統計調査の第一線において諸種の困難なあい路をよく打開して特別の御精励と御努力をいただき、本県としてはまことに立派な成果を取ることができましたことに対し、衷心から感謝の意を表する次第であります。

今や内外の諸情勢はますます複雑多岐をきわめ、この余波は私たちの生活面に、あるいは地方行政面にも大きな影響を与えることはいうまでもありませんが、私たちはこの余波を最少限に喰止め県民生活の向上と健康で住みよい郷土茨城の建設のためにたゆまぬ努力を続けなければならないと思います。

そこでまずナベ底景気による深刻な不況の教訓をよく生かして産業規模の合理化と設備の近代化を促進し、労使関係の円満な調整を図つて、日本経済の体質改善を断行するとともに、技術革新による生産上昇を所得と消費の両面によく調和させて、輸出の増強と完全雇傭を実現する活路を見出すことが肝要だと思ひます。そしてわが国の社会、経済の恒久的安定とその繁栄を図り、停滞気味の景気を春の雪解けとともに、1日も早く回復させることが絶対に必要であり、他面地方行政諸施策の効率的運用に努め、地方産業の振興と経営合理化を図り、あくまでも消費ブームに酔うことなく、生活の堅実化によつて県民所得と生活水準の向上を期さなければなりません。

この大きな課題を解決するには、どうしても科学的な立場から作られた正しい統計を利用して、合理的な総合計画を樹立推進することが先決で、その基礎資料作成に従事される皆様の使命と責任はますますその重大さを加えており、このような時こそ真に正しい統計が重要視され、また大いに活用されなければならないのであります。特に来年はわが国として三十年振りに第三十二回国際統計協会の総会が東京で開かれ、また国勢調査および1960年世界農業センサスが大規模に実施されることになっておりますので、私たちはその企画研究と準備に万全を期したいと思います。

皆様御承知のとおり全世界の注目と関心を浴びている人工衛星、ロケットなどによつて宇宙の秘密に挑戦する原子力時代の新しい科学技術も精密な統計数字の力を借りなければ到底成功することは不可能であります。また毎日の新聞、雑誌などで市場調査、企業合理化、経営研究、オートメーション、何々白書等の記事を御覧になると思ひますが、最近では民間の銀行、会社、団体などにおきましても、このめまぐるしい景気の変動や販売市場の変化、技術革新による生産過剰対策、労働問題における人間関係等については相当進歩した専門的知謝と正しい経済統計の資料が絶対に必要であり、古い経験や勘だけでは何事も正しい解決ができなくなつたことを示すよい例であると思ひます。これを見ましても統計は政治ばかりでなく私ちの生活にも深いつながりを持つており、より豊かで楽しい幸福な生活を築き上げるためにも大きな役割を果すことができるのであります。

どうか皆様にはこの夢と希望に満ちた年頭に當つて、統計がわが国の政治、経済を動かす原動力であり、あくまでも住民福祉の擧進をめざす地方自治体発展の礎石であるという高い誇りと大きな喜びを持つて、新しい知識の習得と技術の改善向上に努められるとともに、統計に対する県民の理解と関心を深めて、私たちの郷土「健康茨城」の前進のため、なお一層の御活躍と御協力を賜るよう心からお願い申し上げます。

終りに皆様の御多幸と御繁栄をお祈りしまして年頭のあいさつといたします。



## 年 頭 の こ と ば

全国統計協会連合会長 大 内 兵 衛

新年おめでとう。諸君とともに心から新春を祝いたいと思います。

私は昨年9月をもって満70才を迎えました。永い間、私と一緒に経済学や統計学などを勉強したごく親しい人々が  
大勢集つて、私と私の家族のために古稀の祝いをしてくれました。このとき集つた人たちは、世の中のしきり  
によつて70の祝いをしたのだが、70まで生きるということが古来稀であつたのは昔のことで、今日では20年以上も  
生命が延びているのだから、90になつたらあらためて古稀の祝いをしてやろう、と言つていました。

私はいま、親しい友人たちのそのときの言葉を思い出しながら、生命表が保証してくれているこれから先の私の  
人生を、静かにしかも有意義に過したいものだ、と、心から望んでいます。

私はこれまで、幸運にも意義ある多くの仕事にたずさわることができました。中でも、日本がああ激しいたたか  
いに敗れたあとの10年余りの間諸君とともに歩んできた統計再建の仕事は、私の過ぎ去つた70年の歴史の中でも特  
にやり甲斐ある事業であつたと信じます。

昭和21年8月24日に、首相官邸の大会議室で、総理大臣の吉田さんの発意でつくられた統計制度改善に関する委  
員会の第一回総会が開かれたとき、私はこのようなことを述べたことを覚えています。

「統計の再建の仕事は、日本経済再建という大事業の中の一つが二つの小さな仕事と考えられているかも知れま  
せん。しかし私は統計再建の仕事こそ日本経済再建のための基礎事業中の基礎事業と考えて、この仕事に全力を尽  
したいと思います。」

このような決意のもとに私が統計再建の事業の第一歩を踏み出したとき、多数の学者や役人の諸君がこれに共鳴  
され、また国、都道府県、市町村の統計の仕事にたずさわつていた諸君もまた一致協力されて、何よりも大事なこ  
の仕事に全力を尽して協力されました。日本を占領していたマツカーサー司令部もまた、占領行政という別の立場  
から日本の統計の整備に努力しましたが、たまたま司令部の招きによつて日本に来られた世界的な統計の指導者ス  
チュアート・A・ライス博士から与えられた限りない友情とその鞭撻は、どれだけ私たちをはげましてくれたかわ  
かりませんでした。

それからすでに12年を過ぎた今日、日本の統計が再び先進諸国の水準に達し、いろいろな面で立派な業績をあげ  
ているのを目のあたりに見ますことは、諸君とともに本当によろこびに堪えないところです。

1960年の5月には30年ぶりに日本において国際統計会議が開かれますが、このときこそ、日本の立派に再建され  
た統計を世界の人たちに見てもらふ良い機会でありましょうが同時に、30年前に第19回国際統計会議が開かれたす  
ぐあとに日本が歩んだような、統計を軽んじた暗黒の道を再び歩むことのないよう、正しい統計と統計を考えた政  
治や行政の基礎を固めるための反省の機会にもしなければならぬと考えます。

1959年、この年こそ、日本の統計史上に輝く年とするための物心両面の準備の年にしたいと思います。